

会長就任あいさつ

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会
会長 田中 宏
埼玉県病院局



この度、小川前会長より、第11代会長に就任させていただきました田中宏でございます。

本会誌の巻頭言でも記述させていただきましたが、本会は昭和26年に創立し、60年以上の歴史を有しております。近年で申し上げますと、水鳥元会長は社団法人化を行い、山岡元会長は技師会事務所（技師会センター）を設立し、藤間会長は読影補助業務を先読みした認定講習会を開催し、小川前会長は公益社団法人化を行いました。そして、本会は未来永劫受け継がれていくものと確信しております。

本会の主な目的には県民ニーズに対する公益活動があります。今年度事業として、公立高等学校での放射線に関する授業を技師会として受け持つことになりました。これまで、他県でも個人で授業を受けていたということはあったようですが、組織で対応するということは職種の社会貢献としては大きな意味があると考えます。5月末現在のところ4校の依頼がきており、県の教育委員会や授業を行った高校からは感謝の言葉を頂いております。教員を募集しておりますので、希望がある方はお近くの役員か技師会事務所にお問い合わせください。

近年、高度医療技術が進み、専門化していきます。しかしながら、専門化はいわゆる縦割り化が進み、本来のポテンシャルを発揮できないのが実際です。そのために厚生労働省各医療スタッフのチーム医療を推進しているわけです。現在でも研

究会レベルの協力体制は行っておりますが、公式な団体、たとえば職能団体同士の企画や協力が必要ではないかと考えています。

技師会は人材育成という重要な役割も担っています。私たちが社会で仕事をする上で業務の種類を、作業能力、自立、統率力の三つに分類できます。作業能力とは業務をスピーディに正確にこなすことです。自立とは仕事の段取りを行い、包括的に与えられた権限のなかで自ら責任を持って決断することです。統率力とはその名の通り、組織を統率する能力のことです。「役職が人を育てる」という言葉がありますが、年功序列が当たり前の時代に生まれた言葉であり、現代ではそぐわないことが多いと思います。つまり、多くの場合その役職にある程度相応しい人が選ばれ、その役職に就いた時から成果を求められる時代です。技師会は講習会などへの参加、その発表や講演、企画、イベント実行、統率という実戦での人材発掘・育成をするにとっても身近な組織だと考えています。

私に与えられた1年という任期では、以下のことに取り組んでいきたいと考えています。

1. 技師会の歴史を大切にし、次世代に繋いでいきます
2. 学校教育で「放射線」に関して診療放射線技師が教えていくことを定着させます
3. チーム医療を職能団体として積極的に推進していきます
4. 人材発掘・育成に取り組みます

よろしくお願ひ申し上げます。

副会長



堀江 好一

JCHO さいたま北部医療センター

今年度で副会長という役職も10年目を迎えました。強力なリーダーシップで9年間本会を引っ張っていただいた小川前会長と一緒に退任というのが花道かと思いましたが、引き続き副会長として田中新会長をサポートさせていただくことになりました。理事をはじめ関連役員の皆さんが楽しく会務を行えるよう、また本会の公益性を益々高められるよう、努力して参りたいと思います。今期もよろしくお願いたします。

副会長



富田 博信

埼玉県済生会川口総合病院

埼玉県診療放射線技師会において役員としては平成18年度より学術の理事を拝命され、県内の学術向上に努めて参りました。埼玉における学術大会は近年、演題数も倍増し、昨年度は58演題を数えました。これもひとえに埼玉県内の会員の皆様のおかげであると思います。本年度から副会長という重責を拝命され、いささか緊張しておりますが、学術だけでなく会全体においてもよく気を配り、新たな試みにも挑戦し、さらなる本会の発展に尽力したいと存じます。また日本診療放射線技師会とのつながりも密に取り、相互的な発展ができるよう進めて参りたいと思います。今後とも、何とぞよろしくお願い致します。

常務理事（総務）



芦葉 弘志

丸山総合記念病院

会員の皆様、埼玉放射線を購読の皆様、こんにちは。

この度、役員選挙ならびに理事会において、平成26年度総務担当常務理事に再任されました芦葉です。

総務担当としましては、継続開催のフレッシューズセミナー、新春の集い、役員研修などにしっかりと取り組んでいきます。

今年度新規事業として、高等学校に「放射線について考えよう」という特別授業を運営する企画があり、既に行った高等学校からは、高い評価を頂いております。また今後も数校で企画があります。一人でも多くの方に放射線の安全について知っていただき、安心した放射線診療が受けられるよう努力していきます。また会員個人や県民にとって親しみのある埼玉県診療放射線技師会となるようにしていきたいと思っております。

常務理事（総務）



平野 雅弥
埼玉医科大学病院

この度、総務を担当させていただく平野と申します。

今までは支部理事や総務委員、学術委員などを行ってまいりました。今回は常務理事という大役を仰せつかり、微力ではありますが皆様のお役に立てるよう責務を果たしたいと思います。私自身、技師会に入会してから今日まで、会の催す勉強会やイベントに参加し他の施設の方と接しながら様々な経験と知識を得させていただきました。今度は総務担当として企画する側にたち、皆様に還元したいと考えております。

また今回、田中新会長をはじめ若いパワー溢れる役員が多くなりました。今までの諸先輩方が築きあげてきた功績を汚さぬよう会務にあたり、会員のみならず地元埼玉県民のために、皆様のご協力を得ながら頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

常務理事（財務）



結城 朋子
埼玉県済生会川口総合病院

平成26年度、再度財務を担当させていただくこととなりました。退任された小川前会長からお声を掛けていただき役員に就任してから早くも8年になりました。この間、学術の理事を2年、常務理事となつてからは今日まで財務を担当させていただきました。途中、顧問税理士が変わり、公益法人格取得のため会計基準が大幅に変更になるなど、様々なことがあり、改めて振り返るとわれながらよくやってこられたと、今更ながら思います。さらに公益法人となつて2年、より複雑になった会計処理にもやっと慣れてきましたが、今期は次期担当者との引き継ぎを兼ねた1年となりますので、今まで行ってきた会計処理方法を改めて見直し、スムーズに引き継ぎができるようにしたいと思っています。

常務理事（編集・情報）



潮田 陽一
埼玉医科大学総合医療センター

役員となつてから早5年が経過しました。このことは、家と職場の往復になっていたそれまでの生活を、大きく変えるものとなりました。

そして6年目。役員としての生活、会誌の内容など、少しマンネリ化が出てきたかもしれません。また様々なことへの対応に、緊張感がなくなっている感じもしています。

今年は役員改選、そして私たちが担当するWebサイトもリニューアルをします。私も気分を新たに、再出発ができればと思います。

常務理事（学術）



今出 克利
さいたま市民医療センター

今年度より学術の常務理事を担当させていただくことになりました、さいたま市民医療センターの今出と申します。

学術担当理事を3年間務めさせていただき、今回、学術の常務理事に推薦いただきました。

前任の富田常務理事（現副会長）の学術事業に関する功績は多大なものがあり大きく成長してまいりました。その歩みを止めることなく、よりパワーアップできるよう学術委員と一丸となって、埼玉県診療放射線技師会会員の皆様のお役に立てるよう頑張っていきますので、ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

常務理事（公益）



佐々木 健
上尾中央総合病院

こんにちは、今期より公益常務理事を務めさせていただく事となりました、上尾中央総合病院 佐々木健です。公益社団法人の要でもあります公益事業を任されたわけですが、埼玉県民や周辺地域住民の方々から診療放射線技師はどのようにみられているのでしょうか？東日本大震災後、注目された時期もありましたが最近では耳にすることも少なくなりました。医療だけではなく放射線の専門家としての活動は風化することなく継続することこそが大切です。県民公開講座をはじめとする事業を通じて、多くの方に放射線について知る手助けができればと考えています。しかし、私一人のひ弱な肩では到底背負える事業ではありません。理事、委員ひいては会員皆様のお力添えがあって成り立つものだとして認識しております。ご協力お願い申し上げます。以上をもって挨拶とさせていただきます。今後ともよろしくお願い致します。

理事（編集・情報）



八木沢 英樹
JCHO 埼玉メディカルセンター

平成26年度二期目の理事を務めることとなりました八木沢です。よろしく申し上げます。会の中での仕事としまして、主に会誌の企画・発行、各支部開催の勉強会や研究会などのホームページ掲載・更新をし、情報を会員の皆さまにお伝えする役割を担っています。重要なお知らせや勉強会・認定講習会・学会などは迅速に行わなくてはならず、インターネットでいつでも閲覧できるホームページで速やかな対応が望まれます。この要望に応えられるよう今年の夏頃を目途に、ホームページをリニューアルする運びとなりました。シンプルで見やすく会員の皆さまの情報源として、お役に立てるようなものを提供できるように委員会として努力していきたいと考えます。何か会誌・ホームページ企画など、ご要望がありましたらご連絡ください。

理事（学術）

栗田 幸喜
埼玉県済生会栗橋病院

前期に引き続き学術理事を務めさせていただくことになりました。

小川会長から田中会長にバトンが渡され、今期より新しい執行体制のもと運営が始まります。私も微力ながら本会のお役に立てるように頑張りたいと思い受諾致しました。

昨今の学術事業は皆さまのご尽力により多くの事業が行われております。多くの会員の方々に参加していただき、またご意見をいただきながら益々充実・発展していければと思いますので、皆様のご指導とご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

理事（学術）

城處 洋輔
埼玉県済生会川口総合病院

平成 21 年より学術委員として本会の運営に携わり、今期からは理事を務めさせていただくことになりました。この 5 年間は技師会活動を通じ色々な施設の方と出会うことができ、公私ともに自身の未熟さを痛感するとともに、時にはご指導頂きとても充実した日々を経験することができました。技師歴は 10 年目でこれまでは X 線 CT と多くの時間を過ごしてきたこともあり、学術大会や講習会などにおきましても X 線 CT を中心に担当してまいりましたが、今後は幅広い視野を持ち、会員の皆様にとって有益な会となるよう努めていきたいと思っております。「温故知新」

今までの経験を振り返り、新たな企画をしていきたいと考えておりますので、新米理事で至らない点もあるかとは思いますが、よろしくお願い致します。

理事（学術）

横山 寛
埼玉県立小児医療センター

今期より、新たに学術担当理事に任命されました埼玉県立小児医療センターの横山寛です。昨期までは学術委員として活動させていただきましたが、正直なところ自分はほとんど何もできませんでした。反省点を挙げればきりがありませんが、今期はそこから学んだ“経験”という大きな武器を無駄なく活かして、今後の埼玉県診療放射線技師会の学術活動を盛り上げていければと思います。

各理事、各委員と力を合わせ、会員の皆様方に満足いただけるような技師会活動を目指してがんばっていく所存です。まだまだ至らない点も多いと思いますが、会員の皆様方からのご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

理事（公益）



西山 史朗
久喜総合病院

このたび公益理事に選任されました久喜総合病院の西山史朗と申します。埼玉県診療放射線技師会は公益社団法人として、会員のみではなく県民や市民に対しても放射線を利用した診断や治療、また医療被ばくなどの情報発信を求められています。放射線が医療に欠かせない事は誰もが知っていますが、それを取り扱うプロ集団である診療放射線技師については、まだまだ社会的に認知度が高いとはいえません。診療放射線技師の地位向上のためにも微力ではありますが、少しでも会に貢献できるよう努力していきたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

理事（第一支部）



双木 邦博
さいたま市立病院

この度、平成 26 年度の第一支部理事を務める事となりました、さいたま市立病院中央放射線科 双木邦博（なみきくにひろ）です。

今回で 2 期（4 年）目となり、前期より少しは埼玉県診療放射線技師会のお役に立てるよう努めていきます。

前期は、手探りの状態で第一支部の運営を行ってきました、会員の皆様へ勉強会で有益な情報を提供できたのか不安です。役員と会員で考え方に乖離があるのではいつも考えておりました。今期からは勉強会の担当役員施設で企画を考え、他の役員がサポートする方向で進めて行きます。勉強会企画の提案を少しでも広く受け入れていきますので、役員および会員の皆様のご提案をお待ちしております。また、他支部と合同勉強会や講師、座長などを相互に交流して親交を深めて行きます。

第一支部役員、会員の皆様のお力をお借りして、第一支部を盛り上げていきたいと思ひます。どうぞ、よろしくお願い致します。

理事（第二支部）



大西 圭一
所沢ハートセンター

この度、第二支部を担当する大西です。

昨年度は心臓 CT セミナー 2013、支部合同勉強会、支部勉強会に遠方から多数の参加をいただきありがとうございます。今後も支部勉強会のレベルを研究会レベルに上げられるよう、役員と協力的な県内技師さまにご教示いただきながら企画していきたく思います。

今後の目標としては、埼玉県内の研究会とのコラボイベント、県内外問わず参加できる学術交流イベントなどを企画していきたく思います。

よろしくお願い致します。

理事（第三支部）

渡部 進一
埼玉医科大学病院

向夏の候、埼玉県放射線技師会の皆様には、ますますご健勝のことと存じます。

この度、皆様のご推挙により、庭田地区代表幹事の後任として、第三支部代表幹事に就任致しました埼玉医科大学病院の渡部進一と申します。以前に第三支部役員として2年余り勤めさせていただき、とても良い経験をさせていただきましたが、支部役員時代とは全く違い責任の重さを痛感しています。浅学非才ではありますが、全力を挙げて職務に邁進する所存であります。

第三支部でも勉強会・親睦会・地域住民との交流や貢献など、様々な事業活動がありますが、昨年同様に多数の会員の皆様に参加および協力をお願いし、より一層に盛り上げていく事を目標にしていきたいと思っております。また会員の皆様方からのご意見やご要望などがございましたらお聞かせいただき、第三支部および埼玉県診療放射線技師会のさらなる発展に努めたいと思っております。

最後になりますが会員の皆様方のご指導、ご支援を心からお願い申し上げます。

理事（第四支部）

齋藤 幸夫
深谷赤十字病院

今年度より第四支部理事を務めることになりました、深谷赤十字病院の齋藤幸夫と申します。伝統あるこの支部をまとめていくのはプレッシャーではありますが、支部の役員、会員の皆様に支えられながら、魅力ある勉強会などを企画し盛り上げていこうと思っております。

また毎年行われている公益活動として、6月は観光で有名な秩父のイベント「秩父市保健センターまつり」10月は、ゆるキャラふっかちゃんも躍進中の「深谷市福祉健康まつり」を今年も予定しておりますので、ぜひお越しください。

まだまだ未熟な私ですが、皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

理事（第五支部）

矢崎 一郎
春日部市立病院

支部理事になって大分長い時間が過ぎてしまいました。

今期も今一度、自分を見つめなおして精進していきたいと思っております。

皆様に気軽に参加して頂けるような、支部づくりを目指しています。

一つ一つを大事にしながら皆様のご協力と共に歩んでいきたいと思っております。

理事（第六支部）



高嶋 豊
丸山記念総合病院

この度、第六支部理事に就任致しました丸山記念総合病院の高嶋と申します。
私は、常日頃人の関わり・信頼関係をととても大切に感じております。仕事を行う上でも、支部役員の時にも一人の力ではやはり限界があり、たくさんの人力はとても大きな力になる事を実感してきました。今回理事を務めさせていただく上でも大切にしていきたいと思っております。たくさんの方にお力をお借りするかと思いますが、技師としての経験や支部での活動の経験を生かし、第六支部の成長に力を注いでいきたいと思っております。そして少しでも技師会に貢献できるよう、努めさせていただきます。

監事



山本 英明
東京電子専門学校

引き続き、監事を務めさせていただくことになりました。これまでどおり、県民のため、会員のためにチェック機能を果たしてまいりたいと思っております。
よろしく願いいたします。

監事



鈴木 正人
埼玉県議会議員

前期に引き続き、山本英明監事と共に外部監事を務めさせていただくことになりました。監事としての職務はもちろん、行政や県民との橋渡しをさせていただきたいと思っております。

顧問



橋本 里見
JCHO 埼玉メディカルセンター

この度、副会長を辞任し顧問に就任することとなりました。副会長を辞任しようと思いを固め、執行部の外から埼玉県診療放射線技師会（以下、本会）に協力しようと思っていたのですが、田中宏新会長から「ぜひ顧問に」とお話しがあり、正直悩みました。しかし、本会には役員を長く歴任させていただいた感謝の気持ちが強くあったため、もう少しの期間、力不足ながら協力していくことと致しました。

顧問という職でお手伝いができるか不安ですが、田中新会長が悩み困った時に的確な助言できればと考えております。よろしく願い致します。